２０２５ 年度 佐野厚生総合病院 （病床数531）【２年次】

受入人数	【2年次】1名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤		360,000円		990,000円	あり	日・祝・8/15 第1・3・5土曜	平日8:30～17:00 第2・4土曜日 8:30～12:45		11日	2日	12/28午後～1/3	3回以上	あり	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
地域研修（在宅を含む）	【若林胃腸科医院】 若林厚夫 【長島医院】 長島徹 いずれかの開業医から選択し、実地研修(一般外来・在宅医療研修)を行います。 また、地域医療を必要とする患者とその家族に対して全人的に対応するために、精神科デイケア、特別養護老人ホーム等において地域医療のシステムを理解し実践します。
一般外来	指導医:野島淳 コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、各領域で単独診察ができることを目標とします。 頻度の高い症候・病態について適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができるようにします。
外科	指導医:池田謙 一般・消化器外科を中心とした症例数が豊富です。消化管穿孔をはじめとする急性腹症から食道・胃・大腸・肝・胆・膵などの各種消化器癌、外傷に至るまで広く偏りがないのが特徴です。手術も件数が多く、内容も癌拡大根治手術から各種腹腔鏡手術まで広く実施します。癌治療に関しては放射線・各種化学療法、緩和ケアなどについても学びます。
小児科	指導医:吉田真 病棟業務が主体です。上級医の指導のもと、チームの一員として診療に当たり、毎日朝夕に入院患者についてカンファレンスを行い、治療方針について議論に参加します。採血、点滴確保などの処置についても積極的に実施します。外来では専門外来・予防接種外来の積極的な参加を求めています。希望があれば小児科当直への参加も可能です。
産婦人科	指導医:平嶋洋斗 産科・婦人科の区別なく、主治医とともに診療にあたります。外来では上級医の手技を見学し、胎児スクリーニング法や分娩予定日推定法、合併症妊婦管理などについて学びます。病棟では婦人科疾患の術前診察や産科の切迫早産管理、緊急母体搬送の診察等を上級医とともに行います。分娩は、入院時点から進行を把握し、分娩まで管理します。また正常経過逸脱時の帝王切開の判断を学びます。手術では可能な限り第2助手として参加し、産婦人科手術の特殊性について体験します。また、産科危機的出血の対処法を学びます。
精神科	指導医:関谷竜彦 基本的な精神状態・人格の全体像を簡潔に把握する視点を実践的に学びます。 身体疾患に基づいた精神症状であるか否かを判断するための基本的技術を学びます。 薬物療法の概要、精神薬理の基本、副作用や他の薬物との相互作用に関する知識を学びます。急性期から慢性期、そして社会復帰までの大まかな流れを理解し、そこで必要とされる保健・福祉制度や各種社会資源の利用について基礎的な知識を学びます。PSW・看護師・心理士・ヘルパー・ボランティアといった人たちとのチーム医療の実践を体験し、各職種の業務内容について知識を身につけます。
麻酔科	指導医:坂口結夢 麻酔を全身管理学ととらえ、基本的な気道確保法の知識、技術の習得から始まり、周術期の評価と対応が的確にできるようになることを目標とします。 マスクによる気道確保、各種ラリンゲルマスクの使用法、正しい気管挿管法を確実にマスターし、経鼻挿管、気管支鏡下挿管、意識下挿管を経験します。循環動態をコントロールするため術中の輸液管理や薬剤の適切な投与方法をマスターします。脊椎麻酔、硬膜外麻酔、各種神経ブロックを経験します。 外来ではペインクリニックで扱う疼痛疾患の理解と神経ブロックや理学療法、漢方療法を用いた治療を経験し、「痛み」に対応する能力を身につけます。

○ 選択科目について（選択できる診療科）

腎臓内科	消化器内科	呼吸器内科	糖尿病・内分泌代謝内科	循環器内科
呼吸器外科	皮膚科	形成外科	整形外科	耳鼻咽喉科
放射線科				
備考				

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。

○ 研修のアピール

・自由度の高い研修環境が毎年研修医に好評を博しています。研修医の主体性を尊重し、研修医の「やってみたい」という気持ちにできる限り対応します。各診療科の医師や臨床工学士による講義、放射線科技師との合同勉強会も充実しています。人工呼吸器やPICCカテーテルなどの手技を学ぶ勉強会や定例の内科カンファレンスでは、研修医の希望を取り入れながら計画し実施していますので学びたいものを思う存分吸収できる環境です。とくに手技は実技の機会を積極的に設けますので、1年間の研修を終える頃には大きく成長していることを実感できます。

・研修医1人に対して指導医が１名以上つき、マンツーマン指導を行います。研修医の数が少ないのでローテートの重複は少なく、その分指導医・上級医からの手厚い指導を受けることができます。

・働いている職員の穏やかさ・職場の雰囲気の良さも当院の強みです。先輩医師・コメディカルスタッフとも元気で明るく、職種間の垣根が低いためわからないことや困った時には相談しやすい環境が整っています。穏やかな環境の中で安心して自身の研修医としての成長や研鑽に集中することができます。

・当直は月3回以上ですが自分の希望に合わせて入れやすいので、ワークライフバランスの充実も可能です。

・都内へのアクセスも良く直通バスで1時間程で行けるので、田舎の空気と都会を身近に感じられる場所に位置する病院です。近隣には飲食店やスーパー、ドラッグストアが多くありますので、生活しやすく住居面でのストレスも少なく過ごせます。

研修実施責任者　　岡村幸重

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：　研修センター米田

住所：　栃木県佐野市堀米町1,728

TEL：　0283-22-5222

E-mail：soumuka-kensyu@jasanoko.or.jp